

"BIG DREAMS"with" BIG SMILE"

“自己実現 自主自立 そして夢の実現”

ここのうら



佐世保市立神浦小学校

今年度のキーワード 学校便り

『つなぐ(繋ぐ)』No.49

平成28年2月17日(水)

文責:校長 園田俊郎

学校教育目標: 心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

未来へつなげるために。その1

『つなぎ授業』

先月、宇久小学校体育館にて、宇久地区の「小中高一貫教育」に関する報告会を行いました。その発表内容にもありましたが、取組の一つとして「小中つなぎ授業」と呼ぶものがあります。小学校の6年生が、中学校にて中学校の先生方から実際に授業を受けたり、給食を食べたりして一日を過ごす活動です。

小学校と中学校では学習する教科の種類や内容、学習進度、教科毎に教える先生がかわる(教科担任制)など、様々な違いがあります。その事を既に経験済みの私達大人にとっては既知のことなので当たり前なんてことないことのように思いがちですが、子どもにとってはそうではありません。小学校のシステムの中で6年間という長い時間を過ごした子ども達にとって、中学校生活は未知の世界なのです。そこには大きな期待や楽しみがありますが、逆に様々な不安を感じることもあるようです。

そこから生ずるギャップを解消し、スムーズに中学校入学やその後の生活に適應していくことができるようになっていくのが、この「つなぎ授業」です。中学校の先生方から受ける50分間の授業、そして宇久小学校の6年生との交流、中学校生活の一部を経験して、教師と児童、児童同士が相互に理解を深め合う良い機会となりました。

午後からは保護者の皆さん対象に「入学説明会」が行なわれました。中学校の先生方、大変お世話になりました。ありがとうございました。



未来へつなげるために。その2

『宇久小学校学校説明会』



春から新しい仲間と新しい学校で過ごすのは6年生だけ

ではありません。統合する本校の子ども達は4月、新年度からは宇久小学校が自分達の学校になり、通うようになります。中学校と違い、同じ「小学校」です。しかも同じ島内の学校です。小学校の教育活動として目指すべきものや活動内容等に大きな違いはありません。しかし、人数も違うし、場所も違う。学校を取り巻く様々な環境が少し違うこともあり、細かに見れば、違っていることもあります。

例えば、神小は人数が少ないため、給食は全員一緒に食べていますが、宇久小は各学級毎に食べます。また、今まで歩いて登校していた子ども達も、4月からは全員がバスでの通学になります。

『子ども達が安全に、安心して学校生活を送ることができる学校』、『保護者の皆さんが安心して子どもを送り出すことができる学校』これが神浦小学校と宇久小学校、両校の職員の願いであり、思いであり、責務です。

そのために、4月からの統合に向け、これまでも両校がそれぞれ学校内で話し合い、更には両校の管理職同士、職員同士で学習や生活面、学校行事など、学校生活上の様々なことを話し合い、検討を重ねてきました。また、PTAでも両校の役員さん同士の話し合いの場をもったり、レクレーション(ミニバレー)を合同で実施したりするなどして連携を図ってきました。

それに伴い、今回は2月12日(金)、宇久小学校の山口校長先生、教務主任の松尾先生にお越しいただき、学校保健委員会後に『宇久小学校 学校説明会』を開催して頂きました。宇久小学校の教育目標や教育方針、一日の日程、各種学習活動や生活の様子、バスでの登下校に関して等、多岐に渡り丁寧に説明して頂きました。保護者の皆様にも安心していただけたのではないかと思います。

閉校、統合に向け準備し、動いているのは本校だけではなく。受け入れる側の宇久小学校の校長先生をはじめ職員の皆さん、保護者の皆さんも体制を整えながら子ども達と保護者の皆さんを待ってくださっています。まだまだこれからも不安のないスムーズな統合に向け、努力していきます。

山口校長先生、松尾先生、ご多用の中、ありがとうございました。